



発行 東村山市 〒189-8501 東村山市本町1-2-3 電話 042-393-5111(代表)
編集 経営政策部秘書広報課 FAX 042-393-6846(代表)

ホームページ <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>
携帯電話用 <http://mobile.city.higashimurayama.lg.jp/>



東京文化財ウィーク2017

10月28日(土)~11月5日(日)

都内の文化財の一斉公開にあわせ、市では文化財関連事業を実施します。各公共施設ではガイドブックを配布しています。この機会に市内各所の文化財を訪れてはいかがでしょうか。

ガイドブック配布 ふるさと歴史館、八国山たいけんの里、産業・観光案内コーナー、情報コーナーほか

問 ふるさと歴史館 (☎396-3800)

都指定有形文化財 下宅部遺跡漆工関連出土品

縄文時代の漆塗りの技術の高さを知ることのできる資料を展示しています。

日 午前9時30分~午後5時

※月・火曜日休館(祝日の場合は開館し、翌日休館)

場 八国山たいけんの里(野口町3-48-1)



漆塗りの弓

都指定旧跡久米川古戦場

狭山丘陵東麓(現在の八国山緑地)から鎌倉古街道にかけて広がる一帯は、交通の要衝で、元弘3年の新田義貞の鎌倉攻めなどの合戦の舞台になりました。

場 諏訪町2-21-8

※説明板と石柱があります。



都指定史跡 下宅部遺跡

漆塗り関連資料や籬・木製品などが大量に出土した遺跡です。
場 下宅部遺跡はっけんのもり(多摩湖町4-3-1)



下宅部遺跡はっけんのもり

都指定天然記念物 梅岩寺のケヤキ

狭山三十三観音霊場の一つである梅岩寺の、山門に向かって左側にそびえ立っています。幹周が7mほどもある巨樹で、「新編武蔵風土記稿」にもその様子が記されています。

場 梅岩寺(久米川町5-24-6)



国宝 正福寺地蔵堂 特別公開



室町時代の禅宗建築を代表する建造物で、木造建造物としては都内で唯一の国宝です。期間中1日のみ多数の地蔵が安置されている堂内を公開します。土間が傷つきやすいため、底の平らな靴で拝観してください。公開当日は地蔵まつりを開催します。

日 11月3日(祝)午前10時~午後4時

場 正福寺(野口町4-6-1)

※外観は通年公開です。

第18回「地蔵まつり」

正福寺地蔵堂の公開日に、地蔵まつりを開催します。「雅楽・浦安の舞」(市無形文化財)も年に一度の一般公開ですので、ぜひご覧ください。

日 11月3日(祝)午前10時~午後4時(雨天決行)

場 正福寺周辺(野口町4-6-1)

☎ 厄除け木彫り地蔵の有料頒布、地元で取れた野菜・特産品・郷土料理の販売、子ども向け縁日ほか

共催 地蔵まつり実行委員会、野口町親和会、後援 東村山市、東村山市教育委員会、東村山市商工会、東村山青年会議所
問 地蔵祭り実行委員会事務局・増田 (☎391-0026)

国重要文化財 元弘の板碑 (元弘三年斎藤盛貞等戦死供養碑)

元弘の板碑には、新田義貞の鎌倉攻めのことが記されています。

日 月曜を除く午前9時~午後5時

場 徳蔵寺板碑保存館(諏訪町1-26-3)

費 期間中は無料(通常200円)



文化財ウィーク関連事業

「下宅部遺跡はっけんのもりへようこそ! 2017」 1日こども縄文ムラ

年間を通して縄文時代の暮らしを学習している市内の小学6年生が、縄文人の暮らしを紹介します。

日 10月29日(日)午前10時~午後2時30分

※はっけんのもりは午後1時まで

場 下宅部遺跡はっけんのもり、八国山たいけんの里

※雨天時は、八国山たいけんの里会場のみ開催します。

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

内

○体験=火起こし、木の実のすりつぶし、アンギン編み、弓矢
○見学=縄文土器の野焼き、縄文紙芝居、展示説明、まつりばやし(市無形民俗文化財)

申 不要、直接会場へ

問 八国山たいけんの里(☎390-2161)

カメラで撮る東村山の文化財

ふるさと歴史館職員の説明を聞きながら、カメラを手に市内の文化財を巡ります。撮った写真は、ふるさと歴史館のロビー展で展示されます。

日 10月28日(土)午後1時30分~3時30分(雨天順延)

集場所 ふるさと歴史館(諏訪町1-6-3)

人 先着20名 **費** 100円(資料代) **持** カメラ

申 10月18日(水)午前9時30分から電子申請、直接又は電話でふるさと歴史館へ
問 ふるさと歴史館(☎396-3800)